

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調書

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	前回の地域審議会での回答 (平成24年11月22日開催)	対応内容等
塩江地区	1	温泉施設の整備(奥の湯温泉の今後)	<p>奥の湯温泉は、平成24年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者による運営により、様々なアイデアとノウハウで利用の促進を図るとともに、地産地消および地元雇用など地域に根差した運営により、地域活性化に貢献するという理念で導入したと思いますが、平成24年度第1回地域審議会時の多数の意見にみられるように、地域の取引業者数の減少や地産地消でにぎわっていた産直も激減するなど、地域連携がうまく機能していないように思われます。現時点での評価もまだ時期早尚とは存じますが、今後、一定期間経過した時点での、入浴客数、雇用状況、産直、地元業者の納品状況等の検証と指定管理者の運営方針も含め、地域連携の今後の進め方について市の考えをお示し願いたい。</p> <p>また、リニューアルの件につきましても、民間能力の活用による新たな可能性やニーズを見定めた上でということになっておりますが、以前から申しあげておりますように、老朽化が著しいことから、併行した議論をお願いしたい。</p>	創造都市推進局	観光交流課	<p>奥の湯温泉におきましては、民間事業者が有する経営ノウハウを活用した経営改善や、市民ニーズの多様化に対応する質の高いサービスを期待し、平成24年度より指定管理者制度を導入したところでございます。</p> <p>8月の温泉まつりでは、商工会と並び、奥の湯温泉からの出店もあり、指定管理者も少しずつ地域の皆様の中に溶け込むよう努めていると感じております。</p> <p>地域連携の今後の進め方につきましては、御指摘がありましたアンケート調査の実施等、地域住民の方の意見をお伺いしながら、調査結果を公表し、検討していく予定でございます。</p> <p>施設の老朽化につきましては、この指定管理期間のうちに耐震診断も計画しており、施設整備等について検討してまいりたいと存じます。また、その間の老朽化に対応した修繕につきましては、緊急度・重要度等を勘案した上で優先順位を決定し、順次行っていきたいと存じます。</p>	<p>奥の湯温泉におきましては、民間事業者が有する経営ノウハウを活用した経営改善や、市民ニーズの多様化に対応する質の高いサービスを期待し、平成24年度より指定管理者制度を導入したところでございます。</p> <p>昨年8月の温泉まつりでは、商工会と並び、奥の湯温泉からの出店もあり、指定管理者も少しずつ地域の皆様の中に溶け込むよう努めていると感じております。</p> <p>また、市内各地区の老人会等への誘客など、経営改善努力を積み上げている成果が伝わってきております。</p> <p>地域連携の今後の進め方につきましても、アンケート調査の実施等、地域住民の方の意見をお伺いしながら、調査結果の公表も含め、引き続き、検討していく予定でございます。</p> <p>施設の老朽化につきましては、平成25年度中に耐震診断も計画しており、その結果を踏まえて、施設整備等について検討してまいりたいと存じます。その間の老朽化に対応した修繕につきましては、緊急度・重要度等を勘案した上で優先順位を決定し、予算の範囲内で対応してまいりたいと存じます。</p>
塩江地区	2	塩江地区学校統合事業	<p>近年、全国で学校の統廃合に伴う廃校後の利活用については、当地区と同じような環境と条件下で、例えば、自然体験型宿泊施設、人材育成事業関係施設、カフェ、地域間交流拠点、情報発信基地、農産物や加工品の開発・製造・販売施設等、有効に活用している事例は沢山あり、廃校フォーラムも開かれています。</p> <p>統合後の3小学校の在り方について、市としてどのようなお考えか、また、具体的な利活用方策を検討されているのであれば御提示願いたい。</p> <p>現在、塩江温泉観光協会が実施する塩江マイスター支援事業も、「ものづくり」に携わる人材育成や塩江ブランドの開発に力を入れており、その拠点施設としての活用も一案かと思えます。</p> <p>また、先進地視察や廃校フォーラム等への参加、および有識者を招いての研修会等を開き、併せて全国の廃校活用施設の情報・利活用の実態を事例として示して欲しい。</p> <p>今後、地域からの提案を積極的に取り入れていただくために、各地区で利活用検討会を設置することを要望します。</p>	教育局	総務課新設統合校整備室	<p>3小学校は、いずれの学校も地域と深いかかわりを持ちながら運営を行ってきた長い歴史があり、住民にとって学校は、地域文化の拠点的な思いが強いものと存じます。また、スポーツや地域交流の場としても利用されており、災害時には避難所としての重要な役割もごございます。</p> <p>本市としましては、閉校後の利用方法につきましては、基本的には避難所機能や現在利用されている地域開放については継続できるように対応してまいりたいと考えておりますが、具体的な利用方策につきましては、地域要望を踏まえて、市の各種計画等との関連も含め、総合的に検討する必要がありますので、御要望をお伺いしながら、今後、具体的活用方法について検討してまいりたいと存じます。</p> <p>いずれにいたしましても、3小学校は、平成27年4月以降、廃校となりますので、それまでに具体的な利用計画を取りまとめまいりたいと存じます。</p> <p>地域要望につきましては、各校区それぞれに状況が異なりますので、コミュニティ協議会を通じて各校区の御意見等をお伺いしてまいります。</p>	<p>閉校後の利用方法につきましては、基本的には避難所機能や現在利用されている地域開放については継続できるように対応したいと考えており、地域要望を踏まえて、市の各種計画等との関連も含め、総合的に検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、コミュニティ協議会を通じて各校区の御意見等をお伺いしてまいります。</p>
塩江地区	3	塩江ケーブルテレビ光ケーブル化	<p>平成24年度第1回地域審議会において、塩江ケーブルテレビの光ケーブル化を進める旨のお話でしたが、整備時期、概要、内容等の説明が無かったと思えます。</p> <p>塩江ケーブルテレビの機器は設置から長い年月が経ち、老朽化が著しく、煩雑な故障に伴い、住民からの苦情もよく耳にします。また、緊急防災無線にも支障をきたす可能性があります。</p> <p>塩江地区につきましては、テレビの難視聴地域で、現在市が進めています光ケーブルでの全市域ウルトラブロードバンド化構想とは、一部性質が異なると認識していただき、今までと同じ負担で同様のサービスが継続できるよう、早急な着手・整備を要望します。</p>	総務局	情報政策課	<p>塩江ケーブルテレビにつきましては、複数の難視聴対策共聴施設の本化による難視聴地区の解消と地理的情報格差の是正を図るため、平成15年度に整備されたものでございまして、当時は最先端の施設であったものが、今や、少し時代遅れの設備になりつつあるものと存じております。その象徴が伝送路の同軸ケーブルでございまして、これの光ケーブル化を図ることは、全市域ウルトラブロードバンド化構想とも合致するところでございます。</p> <p>現在の塩江ケーブルテレビの施設は、国の補助を受けて整備しているため、その処分には設置後10年以上の経過が必要となっており、撤去するとしても、平成26年6月以降となります。</p> <p>そのため、早ければ、平成25年度以降で、光ケーブル化の基本設計等を進めていくことになると存じておりますが、構築後の運用等について、地元の皆様と協議する必要がありますことから、現在のところ、基本設計等の予算措置を行う時期も含めて、具体的なスケジュール等については未定となっております。</p>	<p>現在、塩江ケーブルネットワークの再整備に係る検討事項等を整理しているところでございます。</p> <p>今後、それを基に、再整備のポイントやスケジュールを定めて地元の皆様へお示しし、平成25年度中に方向性を決定する予定でございます。</p>

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調書

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	前回の地域審議会での回答 (平成24年11月22日開催)	対応内容等
塩江地区	4	温泉水給水事業	奥の湯温泉の温泉水給水事業の継続を要望します。 昨年度、温泉水減圧設置工事は終了しましたが、今後の温泉水を安定供給するためには、配水管の敷設から30年以上経ち、劣化していると考えられるので、管の点検を実施して、修繕が必要なところは早急に対応し、先々で敷設管の取替えを計画して欲しい。	創造都市推進局	観光交流課	温泉水給水事業は、観光の振興および市民福祉の向上を図り、併せて地下資源の保護に資することを目的としており、給水施設・設備の劣化等への対応につきましては、今後も安定的な温泉水の給水のために、必要な維持管理をまいります。	温泉水給水事業は、観光の振興および市民福祉の向上を図り、併せて地下資源の保護に資することを目的としており、給水施設・設備の劣化等への対応につきましては、今後も安定的な温泉水の給水のために、必要な維持管理をまいります。
塩江地区	5	観光イベントの充実	塩江4大祭りイベント等により、国道193号の大渋滞を防止するための対策として駐車場の確保を要望します。 小中学校建設工事により、イベント用の駐車可能台数が激減し国道の大渋滞を招いており、参加者や周辺住民等に変な迷惑をかけています。また、火災はもとより、怪我・病気などの救急対応にも支障をきたすことにもなり、危機管理的な面からも、イベント時の臨時駐車場確保を強く要望します。	創造都市推進局	観光交流課	塩江4大まつりのうち、6月に開催されるほたるまつり、8月に開催される温泉まつりは、塩江地域のみならず、市内はもとより県外からの観光客も多く、本市の観光振興に大きな役割を果たしています。 そのような中、平成24年度より塩江小中学校統合に伴う建設工事のため、観光客用の駐車場が減少したことから、ほたるまつり開催時に国道193号で5kmにおよぶ大渋滞が発生し、観光客や周辺住民等に御迷惑をおかけしました。このことを踏まえ、温泉まつりにおいては、中村に臨時駐車場の設置を行い、その経費の一部を追加で補助を行ったところでございます。 今後、両まつりの開催に当たりましては、塩江小中学校統合に伴う建設工事期間中の措置として、代替駐車場を確保するための経費について、予算計上していく予定でございます。	塩江4大まつりのうち、6月に開催されるほたるまつり、8月に開催される温泉まつりは、塩江地域のみならず、市内はもとより県外からの観光客も多く、本市の観光振興に大きな役割を果たしています。 そのような中、平成24年度より塩江小中学校統合に伴う建設工事のため、観光客用の駐車場が減少したことから、ほたるまつり開催時に国道193号で5kmにおよぶ大渋滞が発生し、観光客や周辺住民等に御迷惑をおかけしました。このことを踏まえ、温泉まつりにおいては、中村に臨時駐車場の設置を行い、その経費の一部を追加で補助を行ったところでございます。 今年度は、両まつりの開催に当たりまして、代替駐車場を確保するための経費を予算計上しております。今後におきましても、必要に応じて対応してまいりたいと存じます。